

「喜びにあふれる」

2015年07月29日

ルカによる福音書 10 章 21 節～24 節。そのとき、イエスは聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。そうです、父よ、これは御心に適うことでした。すべてのことは、父からわたしに任せられています。父のほかに、子がどういう者であるかを知る者はなく、父がどういう方であるかを知る者は、子と、子が示そうと思う者のほかには、だれもいません。」それから、イエスは弟子たちの方を振り向いて、彼らだけに言われた。「あなたがたの見ているものを見る目は幸いだ。言うておくが、多くの預言者や王たちは、あなたがたが見ているものを見たかったが、見ることができず、あなたがたが聞いているものを聞いたかったが、聞けなかったのである。」

主イエスは 72 人の弟子たちを「神の国」の宣教に遣わした。彼らは帰って来て、「主よ、お名前を使うと、悪霊さえもわたしたちに屈服します」と、宣教の大きな成果を喜び、報告した。主イエスは答えられた。あなた方の宣教によって、悪魔が稲妻のように天から落ちるのを見た。あらゆる敵の力に打ち勝つ権能を授けたからである。あなたがたに害を加えるものは何もない。そして、「しかし、悪霊があなたがたに服従するからといって、喜んでではない。むしろ、あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい」と付け加えられた。悪霊追放によって「神の国」が実現するが、その喜びはあなた方の名が、神の手にある「命の書」に書き記されたからであると言われた。

それから、主イエスは喜びにあふれて、「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます」と神を賛美し、言われた。愛し合って共に生きる「神の国」はこの世の知者や賢者たちには拒まれ、幼子のような者たちに受け入れられた。これは神の御心に適うことである。主イエスが表された福音は、この世の知恵に振り回されている者たちではなく、愛と正義を慕う無垢な者たちに受け入れられる。また全てのことは、父なる神から遣わされた子なる主イエスに任せられている。父なる神は、子なる主イエスを知り、父は、子と子が選び、任命した弟子たちによって知られる。神と主イエスと弟子たちは一つに結ばれ、互いを知り合っていると語っている。そして弟子たちに振り向き、「あなたがたの見ているものを見る目は幸いだ。言うておくが、多くの預言者や王たちは、あなたがたが見ているものを見たかったが、見ることができず、あなたがたが聞いているものを聞いたかったが、聞けなかったのである」と言われた。神の愛が息づいている「神の国」の実現を目の前で見ているあなた方は幸いである。旧約聖書の預言者や人々は、あなた方が見ている「神の国」を見聞きたいと渴望したが、できなかった。

私たちは悪魔が稲妻のように落下し、互いの生を受容し合う「神の国」が実現している状況を見ているか。見ていない。見ているものは生きることを拒否する諸々の力に打ちひしがれている現実である。しかも、自分自身が、それらの力に組し、翻弄させられている。私たちの現実は分厚いカーテンに閉ざされた暗黒の中にある。しかし聖書は、カーテンの外では、命が守られ、共にある平和が実現し、神の光が燦々と降り注いでいる、主イエスの十字架と復活によって、罪と死は滅ぼされ、神と共にある救いは既に到来していると告げている。私たちは、この終末的勝利を信じるのである。その信仰にある者は、どんな暗黒の中にあっても平安に、ユーモアと希望を持ち、愛し合う隣人を見出して生きることができる。これが、キリスト教リアリズムである。